

身体的拘束最小化推進体制加算に係るご案内

当院では、患者の尊厳や主体性を尊重し、患者又は他の患者の生命または身体を保護するための緊急やむを得ない場合を除き、原則的に身体的拘束をおこないません。また、安易に身体的拘束をおこなわない組織風土の醸成に努めます。

【当院の取組み】

- ・身体的拘束最小化チームによる用具の一元管理、および、使用状況に基づく身体的拘束解除の提案等をおこなう。
- ・身体的拘束がおこなわれている患者がいる場合、身体的拘束最小化チームによる巡回を定期的の実施し、病棟職員と連携し身体的拘束解除に向けた具体的な検討をおこなう。
- ・身体的拘束をおこなわずにケアするための用具を職員から提案したり、提案を積極的に導入する仕組みを整備している。

身 体 的 拘 束 の 実 施 状 況（対象入院料：地域包括ケア入院医療管理料 1）			
期 間	入院料算定日数	うち、身体的拘束実施日数	身体的拘束実施率
令和 8 年 5 月～令和 8 年 7 月	925 日	0 日	0%

函館赤十字病院 病院長 平田 康二

看護部長 中村 昌代